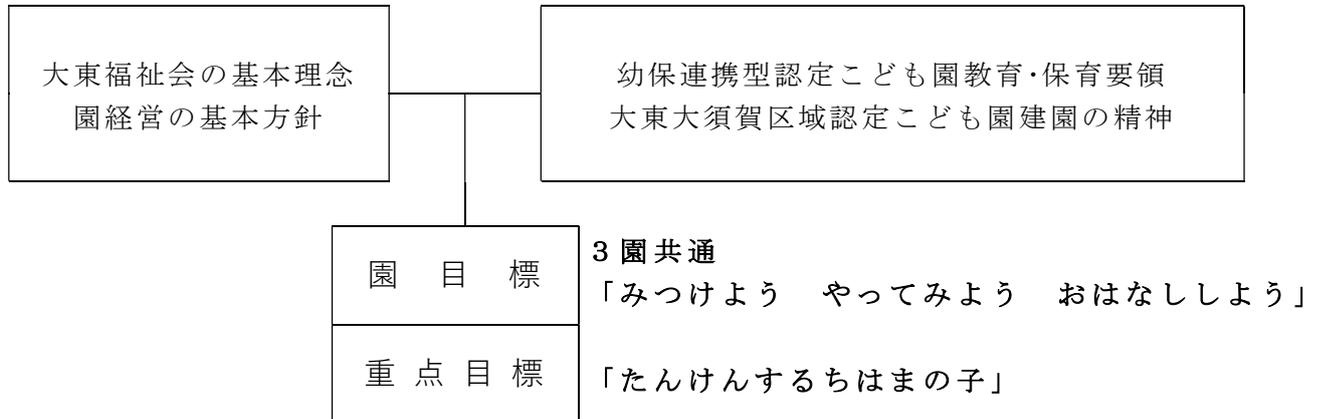


幼保連携型認定こども園 ちはまこども園の目標体系

ちはまこども園を開園するにあたり、大東福祉会の基本理念等に基づいて園目標等を定めました。その体系を以下に示します。

1 目標の体系



2 大東福祉会の基本理念、経営理念

(1) 大東福祉会の基本理念

- ① 利用者の尊厳を守り、その人らしい日常生活が送れるよう支援します。
- ② 心身ともに健やかな子どもの育ちや親の子育てを支援するとともに、子どもの生きる力の基礎を培います。
- ③ 地域社会とともに、教育の振興、福祉の増進に努めます。

(2) 経営理念

- ① 健全で活力ある経営に努めます。
- ② 透明性を高め、公平・公正な経営に努めます。
- ③ 福祉サービスの質の向上に努めます。
- ④ 教育の振興、地域福祉の推進をし、社会に貢献します。
- ⑤ 地域の方々の幸福に寄与するため、法人職員の幸福を大切にします。

3 子育て支援部の基本理念、経営理念

(1) 基本理念

① 大東福祉会の使命

人は生まれて、家族に見守られ、地域の方々、園・校の先生や友人から学んで成長します。大人となり、家庭を持つと、子どもの保育、親の介護の問題に直面します。自らも老いて不自由となり、やがてその一生を終えます。人は、人生それぞれの場面で、支え、支えられて生きています。大東福祉会の老人介護分野と就学前教育及び保育分野の業務は、この地域の人々の命を、生活を、人生を、成長を支えていく重要な使命を担っています。

② 教育及び保育の目的

乳幼児期における教育及び保育は、子どもの健全な心身の発達を図りつつ生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものです。そのため、園児が自ら環境に関わり、その活動が豊かに展開されるよう環境を整え、よりよい教育及び保育の環境を創造するように努めます。また、乳幼児期は周囲への依存を基盤にしつつ自立に向かうもので

あり、園児一人一人が安心感と信頼感を持って、自発的な活動としての遊びに取り組めるよう努めます。

③ 大東大須賀区域認定こども園建園の精神

大東福祉会におけるこども園は、大東大須賀区域認定こども園建園の精神「えがおいっぱい！何かを発見する園」の

- ・豊かな自然の中で、遊び心いっぱいの園にします。
- ・子ども一人一人が主役になる園にします。
- ・家庭や地域とつながり、開かれた園にします。 に基づき、こども園を運営します。「自立心」「意欲」「人と関わる力」「思いやりの心」の建園の精神「学びに向かう力」における4つの育ち、報徳の心（至誠・勤労・分度・推譲）、生きる力の育成に努めます。

④ 大東福祉会の力点

大東福祉会におけるこども園は、たくさんの自然や心躍る楽しい環境の中で遊んだり、畑の野菜栽培での勤労や食育を学んだり、さまざまなかたちで文化や芸術に直接的に触れたりできる、豊かで潤いのある園内環境を整えます。この充実した環境の中で、子どもたちは、たくさんの体験、発見、感動、対話、意欲、成長をし、心も体も豊かでたくましい子どもに育てます。

これにより、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の5つの領域、大東大須賀区域認定こども園建園の精神「学びに向かう力」の「自立心」「意欲」「人と関わる力」「思いやりの心」の育ちの育成に努めます。

(2) 園経営の基本方針

① 環境を通して

教育及び保育の内容に基づいた計画的な環境をつくり出し、その環境にかかわって園児が主体性を十分に発揮して、望ましい方向に向かって園児の発達を促す、つまり環境を通して教育及び保育を行います。

② 自然・体験・情操

山、川、海の豊かな自然、たくさんの草花や樹木などの豊かな自然環境の中で、動物、虫との触れあいの体験や栽培など、自然と関わり、人と関わり、伸び伸びと活動し、様々な体験を積むことにより、感性豊かで、思いやりのある心豊かな子どもを育てます。

③ 主体性・学ぶ力・生きる力

乳幼児の健やかな心身の成長を願い、乳幼児の教育及び保育を一体的に行う環境を整え、遊びや集団生活を通して子どもの主体性を育成し、学ぶ力、生きる力を育てます。

④ 一貫・個性・個人差

0歳から小学校就学前までの一貫した教育及び保育を行う。また、園児一人ひとりの発達の違いや個性、連続性を考慮した教育及び保育を行います。

⑤ 家庭・保護者の子育て支援

子育て支援センターや通常の教育及び保育において、保護者に対する子育て支援を推進し、地域において子どもが健やかに育成される環境の整備に努めます。

⑥ 小学校との接続

こども園における教育及び保育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮するとともに、小学校教育との連携を深めて、ともにその質の向上を図ります。

4 園目標

大東福祉会の経営する3園が交流を深め、切磋琢磨して伸び合っていくことを期待して、3園の目標を同一のものとします。

「みつけよう やってみよう おはなししよう」

5 ちはまこども園の重点目標を設定するにあたって検討してきたこと

- ① 千浜の子ども、保護者・家庭、地域の実態
- ② 千浜幼稚園・千浜保育園のこれまでの取組や成果
- ③ 千浜小学校や大浜学園との連携
- ④ 教育・保育の今日的課題（10の姿など）
- ⑤ 福祉・文化の向上
- ⑥ みんなの願い

これらを基に、課題を明らかにし、園はもとより家庭や地域もひとつになって取り組む目標をつくります。あれもこれもと網羅的でなく、多くの課題に通ずる幹となる考え方を目標に表現します。

6 ちはまこども園の重点目標とその理念

「たんけんするちはまの子」

- ・「たんけんする」とは、わくわく、どきどき、未知のことに心が躍ることです。
- ・好奇心に胸を膨らませ、自分から行動する主体的な姿が育ち、未来につながります。

- ① 自然の探検・知の探検
発見をして、生き物の名前を覚え、その観察をして、言葉にして表現します。
山・川・海・高台・鎮守の森・どんぶち・畑や田んぼ・ハウス・小学校
- ② 時空の探検
先人の知恵にふれ、^{いにしえ}古の姿や未来の姿に思いを馳せます。
- ③ しなやかな体をつくる探検
- ④ 生きる知恵がつき、学びの基礎をつくる探検
- ⑤ できた喜びが生まれ、自己肯定感が高まる探検
- ⑥ 友達が増える探検 友達との交流が広がり、互いを理解して友達意識が高まります。
 - ・もっと知りたい、聞きたい、見たい、やってみたいと、さらなる広がりが生まれます。
 - ・日々の保育に、行事に「たんけんする」価値の意識をして展開します。
 - ・家庭・地域でも「たんけんする」を楽しむ雰囲気をつくっていきます。

7 新しい園舎の特徴

- ① 園舎の中央を走る 70mの光の通路！
- ② 春夏秋冬 森の精にロマンを馳せ ステンドグラス
- ③ 遊び心いっぱい でん・ボルダリング
- ④ 空気をいっぱい吸って さわやかウッドデッキ 二つのデッキ合わせると 100 畳
光の通路と風の通路の交差点にウッドデッキ 車座、水遊び、お店屋さんにも
- ⑤ 未就園の子どもや親たちに 子育て支援 わいわいランドちはま
- ⑥ 園舎の色は、ちはまの豊かな自然を表す
大屋根は、砂丘の色（シルバー）
大屋根の中に3つの三角屋根は、太陽の色（赤）波の色（白）稲穂の色（黄）